

学校通信 「小代っ子」 香美町立小代小学校

◆たくましく 心あたたかい 小代っ子の育成◆ 地域版 29・9・7

2学期がスタートしました。

日焼けした子どもたちが、夏の思い出を両手いっぱい携えて、久しぶりに学校に帰ってきました。今年の夏は、猛暑や急な雷雨等、心配な天候が多くありましたが、9月1日、小代小学校は2学期のスタートを切りました。

この間、地域の皆様のおかげで、子どもたちが楽しい思い出、地域の行事、子ども会行事等での貴重な体験をし、心も体も大きくなることができました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、1学期の終業式で、子どもたちに「自慢のできる夏休みにしよう。」と話しました。きっと、どの子も充実した夏休みだったことだと思います。一人ひとりが自慢できる42日間であったに違いありません。この夏休みの貴重な体験を、1年の中で最も長い2学期の学習や運動に生かし、実り多い学期にしてくれるものと期待しております。

これまでと同様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

夏休みの小代っ子の活躍

「子ども会球技大会」 (7月22日(土))



夏休み作品展開催中、ぜひお越し下さい

子どもたちが、夏休みに作成した、図画・工作・手芸・自由研究等の作品を展示しています。ぜひ、お越し頂き、ご覧下さい。

記

- 開催日時 平成29年9月6日(水)～13日(水) 9:00～18:00
*但し、9日(土)は、9:00～17:00
10日(日)は、お休み
- 場所 小代地域連携センター 会議室

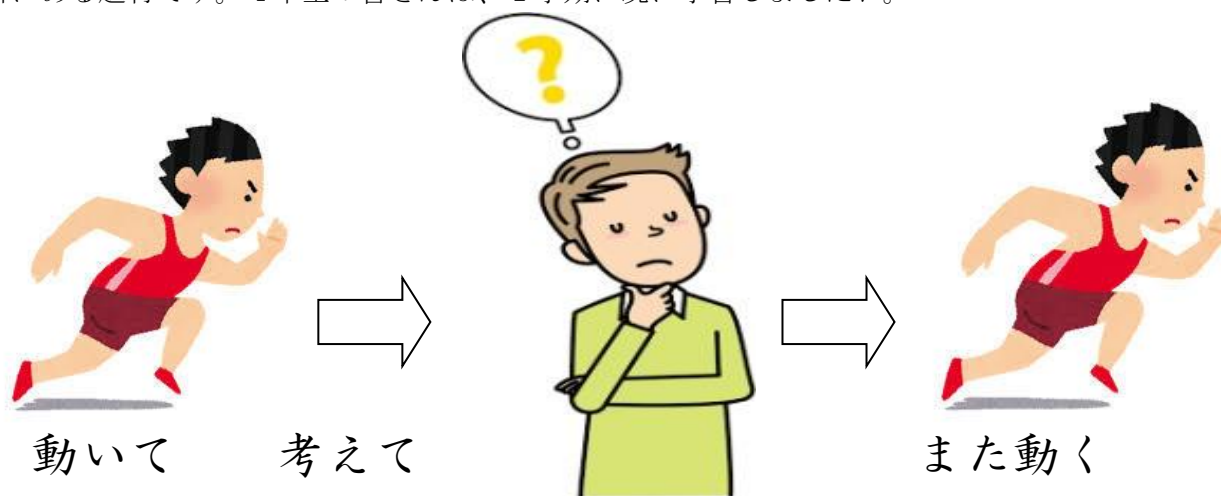
動いて、考えて、また動く

高野 進：作

(始業式での校長の話より)

さあ、42日間という長い夏休みが終わりました。1学期の終業式では、「『おじろ』の『お』は、『おはよう・お先に・おのずから』、『じ』は、『自慢』のできる夏休みに。おいしい『おまんじゅう』ではありません。『自分で自分をほめること。自信を持って、友だちに話せること。』という意味です。そして、『ろ』は、『労働』の『ろ』です。この3つを目標にしましょう。」とお話しました。きっと、目標に向かって力を入れた、たくさんの自慢ができる夏休みだったことと思います。その自慢話を、ぜひ担任の先生や、お友だちに話してくださいね。

さて、今日は、このお話をします。「動いて、考えて、また動く」です。これは、4年生の国語科にある題材です。4年生の皆さんは、1学期に既に学習しましたね。



これは、高野 進さんという方が書かれた説明文です。高野さんは、元オリンピック選手で、陸上競技400mの日本記録を持っておられます。今年の夏は、ブラジルのリオデジャネイロで世界陸上競技選手権大会が行われ、日本が400mリレーで決勝に出て銅メダルを取ったことは皆さんも知っていると思いますが、高野さんは、今から17～8年前、日本選手がなかなか決勝に進めないうち、400mで、世界選手権やスペインのバルセロナオリンピックで決勝に出たすばらしい選手でした。

高野さんが、始めにこう書かれています。

「運動でも勉強でも、『まず動く、そして考える』ことが大切です。そうして何度も失敗や成功を繰り返しながら工夫を重ねると、きっと最高のものを実現できます。・・・。」

と。全部の文章は省きますが、高野さんは、この中で、最初は、走るとき、「膝を上げること」ばかりを考えていましたが、考えているうちに、膝を上げるのではなく、地面を強く踏むことの大切さに気づきました。そして、もう一つ、「足を後ろにける」のではなく、体の下に下ろしていくことに気づきます。こうすると、走るのがより速くなったそうです。つまり、「まず動いて、そして考える、そして、また動くことが大切です。」と書かれています。

皆さんは、これから2学期に入り、運動や学習に取り組みます。何気なく取り組むのではなく、「動いて、考えて、また動く」ことを実践して下さい。

皆さんの2学期の活躍を期待してお話を終わります。

小さい勇気をこそ (東井 義雄 作)

(始業式での校長の話より)

人生の大嵐がやってきたとき
それがへっちゃらで乗りこえられるような
大きい勇気もほしいにはほしいが
わたしは
小さい勇気こそほしい
わたしの大切な仕事をあとまわしにさせ
忘れさせようとする小さい悪魔が
テレビやゲームや漫画にばけて
わたしを誘惑するとき
すぐそれがやっつけられるくらいの
小さい勇気でいいから
わたしはそれがほしい
もう五分くらいねていたっていいじゃないか
けさは寒いんだよと
あたたかい寝床の中にひそみこんで
わたしにささやきかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそほしい
明日があるじゃないか
明日やればいいじゃないか
今夜はもう寝ろよと

机の下からささやきかける小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそほしい
紙くずがおちているのを見つけたときは
気がつかなかったというふりをして
さっさといちまえよ
かぜひきの鼻紙かもしれないよ
不潔じゃないかと呼びかける
小さい悪魔を
すぐやっつけてしまえるくらいの
小さい勇気こそわたしはほしい
どんな苦難ものり切れる
大きい勇気もほしいにはほしいが
毎日小出しにして使える
小さい勇気でいいから
それがわたしは
たくさんほしい
それに
そういう小さい勇気を軽蔑しては
いざというときの
大きい勇気もつかめないのではないだろうか。

